

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-139448

(43)公開日 平成5年(1993)6月8日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 5 D 25/20
A 4 7 G 29/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

W 6540-3E
J 7137-3K
K 7137-3K

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号

特願平3-326857

(22)出願日

平成3年(1991)11月14日

(71)出願人 390020134

カースル産業株式会社

福岡県北九州市小倉北区緑ヶ丘3丁目6番
9号

(72)発明者 渡辺 健司

福岡県北九州市小倉北区緑ヶ丘3丁目6番
9号

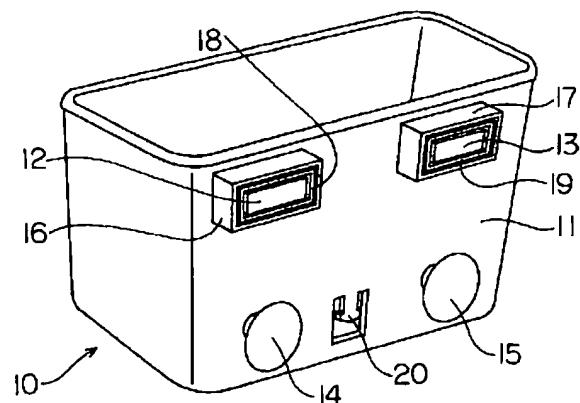
(74)代理人 弁理士 中前 富士男

(54)【発明の名称】 容器等の取付け物を磁性体壁面に取付ける方法

(57)【要約】

【目的】 容器等の取付け物を磁性体壁面に取付ける方法。

【構成】 容器等の取付け物の側部に磁石12、13を、該磁石12、13より下部位置の前記取付け物の側部に吸盤14、15を設け、前記磁石12、13と吸盤14、15を利用して前記容器等の取付け物10を鉄板等の磁性体の壁面に固定する容器等の取付け物を磁性体壁面に取付ける方法。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 容器等の取付け物の側部に磁石を、該磁石より下部位置の前記取付け物の側部に吸盤を設け、前記磁石と吸盤を利用して前記容器等の取付け物を鉄板等の磁性体の壁面に固定することを特徴とする容器等の取付け物を磁性体壁面に取付ける方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、物を入れる容器（洗濯物を入れるバスケット、石鹼等を入れる容器等を含む）等の取付け物を磁性体からなる壁面に取付ける方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、容器等を磁性体の壁面に取付ける場合、容器の側面に磁石を固定し、該磁石を磁性体壁面に吸着させることによって、取付けていた。また、容器の側面に吸盤を取付け、該吸盤を平面物に吸着させて、容器を取付ける場合もあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、前記磁石を利用して容器を取付ける場合には、容器に比較的重量のある物を入れると、容器がずり落ちるという問題点があった。また、吸盤を利用して容器を取付ける場合には、時間の経過と共に外れる場合があるという問題点があった。本発明はかかる事情に鑑みてなされたもので、容易に取付け取外しが行え、しかも保持力が強い容器等の取付け物を磁性体壁面に取付ける方法を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 前記目的に沿う請求項1記載の容器等の取付け物を磁性体壁面に取付ける方法は、容器等の取付け物の側部に磁石を、該磁石より下部位置の前記取付け物の側部に吸盤を設け、前記磁石と吸盤を利用して前記容器等の取付け物を鉄板等の磁性体の壁面に固定するようにして構成されている。

【0005】

【作用】 請求項1記載の容器等の取付け物を磁性体壁面に取付ける方法においては、容器等の取付け物の上部に磁石を、該磁石より下部の壁面に吸盤を取付けているので、まず磁石によって該取付け物が磁性体壁面に吸着される。そして、下部の吸盤が壁面に吸着する。この場合、荷重は片持ちであるので、磁石に対しては引っ張り力が働き、吸盤に対しては圧縮力が働く。吸盤が圧縮されると、大きな摩擦抵抗を有し、下方にずり落ちようとする荷重を支持することができる。しかも、吸盤は圧縮されるので、吸着性が向上し、瞬時の引っ張り等に対して該取付け物が外れることがない。

【0006】

【実施例】 続いて、添付した図面を参照しつつ、本発明を具体化した実施例につき説明し、本発明の理解に供す

2

る。ここに、図1は本発明の一実施例を適用した簡易取付け容器の斜視図、図2は同部分断面図である。図1、図2に示すように、前記簡易取付け容器10は、取付け物の一例である容器本体11と、該容器本体の側面に取付けられた磁石12、13と吸盤14、15とを有して構成されている。以下、これらについて詳しく説明する。

【0007】 前記容器本体11は、ABS等の合成樹脂からなって内部に洗濯物等を収納できるようになっているが、バスケット状に形成することも可能である。その側面上部には磁石収納部16、17が設けられ、内部に断面コ字状の鉄製金具18、19が配置されている。そして、該鉄製金具18、19の内部にはそれぞれ隙間を空けて充分強度を有する磁石12、13が配置されている。

【0008】 また、前記容器本体11の下部側面には、吸盤14、15が取付けられているが、該吸盤14、15はゴムまたは軟質のプラスチックからなって、その取付けは後部に抜き孔を有し、図1に示すような先端が膨出した取付け板20に前記抜き孔を装着して取付けるようになっている。

【0009】 従って、該簡易取付け容器10を使用する場合には、まず前記磁石12、13と吸盤14、15を利用して、鉄製の板（例えば、洗濯機あるいは冷蔵庫の側板）に吸着させる。この場合、上部の磁石12、13を支点として下部の吸盤14、15に押さえ荷重がかかる。この押さえ荷重によって吸盤に滑り抵抗力が働き、該簡易取付け容器10が滑らないという利点を有する。また、上部の磁石12、13に対しては、下部の吸盤14、15を支点として引っ張り力が働くが、該引っ張り力に対抗する充分な力を有する磁石を使用すると共に、磁石の外側に鉄製金具18、19を使用しているので、充分な吸着強度を有する。

【0010】 以上の実施例においては、磁石は上部に2個使用したが、一個あるいは3個以上であっても良く、更には吸盤の数についても同様である。また、前記実施例においては取付け物として容器を挙げたが、例えば、ハンガーあるいは布巾等をかける掛止物であって本発明は適用される。更には、前記磁石の上部に更に別の吸盤を取付ける場合も本発明は適用される。

【0011】

【発明の効果】 請求項1記載の容器等の取付け物を磁性体壁面に取付ける方法においては、取付け物の上部に磁石が、該磁石の下部に吸盤が取付けられているので、これによって取付け物を安定して磁性体壁面に取付けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 図1は本発明の一実施例を適用した簡易取付け容器の斜視図である。

【図2】 図2は同部分断面図である。

PAT-NO: JP405139448A
**DOCUMENT-
IDENTIFIER:** JP 05139448 A
TITLE: METHOD FOR SECURING OBJECT SUCH AS CONTAINER TO WALL SURFACE OF MAGNETIC SUBSTANCE
PUBN-DATE: June 8, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
WATANABE, KENJI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
KAASURU SANGYO KK N/A

APPL-NO: JP03326857

APPL-DATE: November 14, 1991

INT-CL (IPC): B65D025/20 , A47G029/00

US-CL-CURRENT: 220/483

ABSTRACT:

PURPOSE: To secure to the wall surface of a magnetic substance an object such as container, which is easily attachable and detachable but held thereto securely.

CONSTITUTION: The object to be mounted such as container is provided with magnets 12 and 13 on the side part thereof and sucking disks 14 and 15 thereon below the magnets 12 and 13. By using the magnets 12 and 13 and the sucking disks 14 and 15, the object 10 such as container is secured to the wall surface of a magnetic substance such as iron plate.

COPYRIGHT: (C)1993, JPO&Japio